

## 令和元年度 熊本県栄養士会医療事業部研修会(報告)

主 催 熊本県栄養士会医療事業部

日 時 令和 2 年 2 月 22 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 00

会 場 名 済生会熊本病院 コンベンションホール

### 午前部

#### ◇講義 1 『乳がんの疫学と治療の最前線』

講師:熊本大学 名誉教授 熊本市民病院 がん診療特別顧問 岩瀬 弘敬先生

乳がんは、欧米では罹患率、死亡率ともに減少していますが、日本では罹患率は第一位で今なお上昇しており、死亡率も上位にくる疾患です。乳がんの罹患リスクは、遺伝に関するもの、エストロゲン暴露に関するものにより高くなるそうです。最新の乳がん治療として、手術療法ではセンチネルリンパ節生検、温存手術、再建手術、放射線療法では寡分割照射などが話題となっており、薬物療法では内分泌療法、化学療法に加え、分子標的療法に焦点が当たっているとのことでした。

食事に関することでは、乳がんのリスク要因には閉経後の肥満やアルコールの摂取があり、イソフラボンの摂取や運動は予防要因として可能性があると考えられているようです。

尚、「患者さんのための乳癌ガイドライン 2019 年版」に生活習慣と乳癌再発リスクの関連について掲載してありますので、ご参照ください。

先生の講義は、丁寧な話し方で大変聞き取りやすく、勉強になるお話でした。岩瀬先生ご講演ありがとうございました。

#### ◇講義 2 『研修会の進め方』

講師:熊本県栄養士会 会長 南 久則先生

南会長より、熊本県栄養士会が公益社団法人になってからの、考え方や方針、研修会のあり方について、ご説明いただきました。

公益社団法人 熊本県栄養士会の方針として、職域・地域に関わる研修会では、参加費を徴収する方向性になっておりましたが、これまで熊本県医療事業部の研修会では、予算内との考えもあり参加費を徴収していませんでした。今後、日本栄養士会の研修に係る統一事項として、一律に令和 2 年 4 月より研修会に参加する会員から参加費(500 円程度)を徴収することとなりましたので、会員の皆様のご理解を宜しくお願いいたします。それにより更に質の高い研修会の実施が可能となり、開催されることを期待しております。

南会長、お忙しい中、詳しくご説明頂きまして有難うございました。

午後からはミニ学会の予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。マスク着用、アルコール手指消毒を徹底し、63 名の参加がありました。